

Spring 2016 春のサンプルセットキャンペーン

歯科推奨実績No.1の「コンクールF」
より多くの患者さんにお試しいただけるこの機会に、
サンプル付セットをぜひご活用ください。

実施期間

2016年 4/7(木)~5/20(金)

キャンペーンセットがなくなり次第
終了させていただきます。



コンクール
ミニパンフレット 6部



コンクールF
トライアル ミニサンプル 6個

コンクールFサンプル付セット

100mL×6個

参考医院価格 **4,800円(税抜)**

セット内容

- コンクールF 現品 6個
- 患者様用トライアル ミニサンプル 6個
- コンクール ミニパンフレット 6部

- 6個単位でのご注文に限り、
「トライアル ミニサンプル」「コンクール ミニパンフレット」を
添付させていただきます。

グルコン酸クロルヘキシジン(CHG)について

コンクールFには、殺菌成分としてグルコン酸クロルヘキシジン(CHG)が配合されています。今回は、よくご質問にあがるCHGの有効性とその副作用について、分かりやすく紹介させていただきます。

CHGの有効性

CHGの利点は口腔内での貯留性が優れています。歯面や粘膜、ペリクルや唾液に結合し、最大12時間まで唾液中の細菌増殖を抑制することが報告されています。また陽イオン性化合物であり、陰イオン性を示す細菌表層に吸着し、細胞膜に障害を与えます。つまり、プラーク(バイオフィルム)にも付着し、持続的に殺菌効果を発揮します。このような性質から、特にプロフェッショナルケア直後から用いることで高い予防効果が得られます。

コンクールFの場合、洗口液としての適正使用時のCHG濃度は約0.0001~0.0006%です。コンクールFによる口腔細菌のMIC(最小発育阻止濃度)の研究結果より、適正使用時においても口腔細菌に対し、発育阻止効果があると思われれます。CHGは *in vitro*, *in vivo* における多くの研究があり、口腔内使用時の臨床効果の予知性に優れたものと言われております。

表1)コンクールFのCHG濃度(0.0001~0.0006%)で発育が抑制された菌(自社調べ)

<i>Tannerella forsythensis</i>	<i>Capnocytophaga</i>
<i>Fusobacterium nucleatum</i>	<i>Eikenella corrodens</i>
<i>Actinobacillus actinomycetemcomitans</i>	<i>Actinomyces viscosus</i>
<i>Porphyromonas gingivalis</i>	<i>Streptococcus mutans</i>
<i>Lactobacillus casei</i>	<i>Streptococcus sanguis</i>
<i>Prevotella intermedia</i>	

CHGの副作用

■CHGによる着色

CHGは歯面や粘膜、ペリクル、唾液にも結合し数時間口腔内にとどまるため、優れたプラーク付着抑制効果と歯肉炎予防効果が得られる反面、歯面や舌に着色しやすくなります。この着色は歯面清掃により除去できるため、適切なメンテナンス期間を設定することで、CHGの利点を生かすことができます。

また、CHGによる着色は、歯面に留まったCHGへの食品色素の沈着とポリフェノールとの反応により助長されますので、飲食を行わない就寝前に洗口液を使用することを推奨いたします。

■味覚障害

CHGによる味覚障害は、欧米で使用されている0.12%, 0.2%のCHGを用いた報告であり、国内のメーカー指示濃度での味覚障害の報告はございません。



アナフィラキシーショックの事例

コンクールFの販売開始(1990年)から現在に至るまで、CHGによるアナフィラキシーショックの報告は2例であり、いずれも洗口液の用法外使用によるものです。炎症部位や創部などの感受性の高い部位に使用することでリスクが上昇します。

【事例1: 30代男性】

発生時期: 2001年12月

発生場所: 和歌山県内の歯科医院

発生状況: 午前10時50分頃、歯周治療の後、CHGを有効成分とする希釈タイプの洗口剤(医薬部外品の原液(濃度0.36%)の5~6滴を約10mlで希釈し(CHGとして0.005から0.010%程度)、シリンジで歯周ポケットに直接注入する形で洗浄を行った(適応外使用)。その直後、アナフィラキシー様のショックが発生した。

対 応: 救急車の手配。患者さんにはショック体位をとらせ、気道確保を行った。その後病院に搬送。

予 後: 夕方回復し、帰宅。

【事例2: 50代男性】

発生時期: 2003年8月

発生場所: 東京都内の歯科医院

発生状況: 午前9時30分頃、歯周膿瘍の症状確認とスケーリングを行い、治療の最後でCHGを有効成分とする希釈タイプの洗口剤(医薬部外品の原液(濃度0.36%)の4滴を、水50mlで希釈し(CHGとして0.0007から0.0010%程度)、シリンジで歯周ポケットに直接注入する形で洗浄を行った(適応外使用)。午前10時頃、耳の後ろがかゆくなり始め、それが全身に及び、胸にアレルギー様の発赤が認められた。つづいて呼吸困難となり、3分後一時的に全身が硬直。水を飲むが嘔吐し、意識はあるが立ってられない状態となる。

対 応: 救急車の手配。病院に搬送。

予 後: 10時40分頃の病院到着時の血圧は、60mmHg。集中治療室へ。その後、数時間で回復。1日後に一般病室に移り、2日後退院、3日後に職場復帰した。

備 考: 患者には本事象発生以前に同剤を4~5回使用している。また、本事象発生以前に体のかゆみと発疹があった。CHG配合の一般外用薬を傷口などに長年使用しており、同年1月に耳に塗布した際に耳が熱くなり赤くなったので、すぐにふき取った経緯があった。

CHG洗口液によるアナフィラキシーショックのいずれの事例も、適切な初期対応と救急処置の対応により、患者さんは回復しました。アナフィラキシーショック対策の最も有効な手段は予防です。問診により患者さんから情報を得て、疑いがあれば使用しないようご案内ください。

【参考文献】

- 1) 嶋井久一: 洗口剤等に配合されている殺菌消毒薬に関する考察 歯界展望, 113 No.3, 553-558, 2009
- 2) 竹中彰治: 洗口液なるほど活用術 DHstyle, 82, 21-37, 2013(4). 94, 66-70, 2014(3). 97, 72-74, 2104(6).
- 3) 厚生労働省医薬食品局: 重要な副作用に関する情報 グルコン酸クロルヘキシジンを含有する製剤(口腔内適応を有する製剤). 医薬品・医療用具安全性情報No.197

確かな品質の CHG洗口液^{*1}

実力の違いをぜひお試しください。

「コンクールF」は全国歯科医院での売上販売
No.1^{*2}の洗口液です。

歯周病ケアをはじめ予防歯科製品として、
毎日安心してご使用いただけます。

<主な配合成分>

薬用成分/グルコン酸クロルヘキシジン、グリチルリチン酸アンモニウム
矯味剤/メントール、緑茶抽出液

注)コンクールFは、フッ素を配合していません。



薬用マウスウォッシュ コンクールF

内容量 100mL (約360~700回分)

参考患者価格 1,000円(税抜)

医薬部外品 歯科医院専売品

コンクールFの3大特性

1

高い殺菌力

長時間の殺菌・静菌作用のある
グルコン酸クロルヘキシジン
0.05%未満配合

2

お口にやさしい

市販の洗口液が苦手な患者さんも
コンクールFなら大丈夫
という声が多数^{*3}

3

濃縮タイプ

お口の症状に合わせて
濃さを調節

*1 コンクールFは、グルコン酸クロルヘキシジン(CHG)を配合しています。

*2 株式会社アールアンドデイ 歯科機器・用品年鑑2015年版調べ。

*3 自社調べ。

使用方法

25~50mL(コップ約 $\frac{1}{8}$ ~ $\frac{1}{4}$ 位)のお水に本剤を5~10滴滴下して、
よくかき混ぜて1日数回洗口(口中をすすぐ)してください。



洗口
口中をすすぐ